

令和2年度 事務事業評価(令和元年度実施事業事後評価)シート / 令和3年度 実施計画調書 (新規 拡充 縮小 休止・廃止 現状維持)

1 事務事業の基本情報											整理番号	054			
事務事業名	都市計画策定経費				補助区分	<input checked="" type="checkbox"/> 国補 <input type="checkbox"/> 県補 <input type="checkbox"/> 市単	終期	<input type="checkbox"/> 決まっている (年度まで) <input checked="" type="checkbox"/> 決まっていない	予算	会計名	一般会計	款	項	目	事業
担当部	都市建設部	担当課	都市計画課		担当係	にぎわい計画係						8	4	1	8
位置付けられている計画等	<input checked="" type="checkbox"/> じょうそう未来創生プラン前期基本計画 <input type="checkbox"/> 市長マニフェスト「常総創生への道しるべ」 <input checked="" type="checkbox"/> 常総市復興計画 <input type="checkbox"/> 市民等からの要望 <input type="checkbox"/> 常総市まち・ひと・しごと創生総合戦略 <input type="checkbox"/> その他の計画 (名称:)				根拠法令及び市条例等	<input checked="" type="checkbox"/> 国の定める法律 (名称: 都市計画法、都市再生特別措置法) <input checked="" type="checkbox"/> 国・県からの通達等 (名称: 集約都市形成支援事業制度要綱等の制定について) <input type="checkbox"/> 市の条例・要綱・規則 (名称:)									

2 事務事業の概要														
☞ 予算事業全体について記入して下さい。														
対象	都市計画区域の全域													
目的	人口減少が進む将来に向けて、居住や都市機能の集約と集落の維持を考慮すること、都市計画マスタープランや上位計画との整合性を図りながら、子供から高齢者、全市民が暮らすことのできる持続可能なまちづくりを目指した方針を取りまとめる。				内容・手段	①市民や関係部局の意向確認や現状課題の検討を行い、都市計画上的方針を取りまとめる。 ② ①について、定期的な見直しを実施する。 ③まちの基礎資料となる都市計画に関する図書の定期的な更新を実施する。								

3 事務事業の主たる成果指標														
☞ 数値目標の設定が困難な場合は、文言目標でも結構です。なお、設定が困難な事業は空欄とし、設定できない理由を分かりやすく・具体的に記入してください。														
指標名	単位	目標値	目標年次	年度	指標及び目標値設定の考え方(または設定できない理由)	都市行政における方針決定及び将来土地利用を踏まえた規制等の見直しや策定であり、成果指数の設定は困難である。各計画書の進捗率は指標化できるが、定期的見直しが今後も続くため、成果指数としては好ましくない。								

4 事務事業の実績 ①																			
平成29年度					2年間の主な事業内容(実績)														
決算額					前年度(平成30年度)					今年度(令和元年度)									
9,135,988	円	内訳	特定財源	9,135,988	円	①都市計画変更業務(内守谷地区)					①都市計画変更業務(生産緑地)								
目標に対する実績値					①住民説明会 1回					①図書作成 1式									
(住民一人あたりの行政コスト)					151 円					①茨城県との協議 1回					①茨城県との協議 1回				
平成30年度					今年度(令和元年度)					今年度(令和元年度)									
4,903,200	円	内訳	特定財源	1,200,000	円	②都市計画審議会の開催 1回					②立地適正化計画策定業務(2年目)								
目標に対する実績値					②関連する計画及び関係施策の整理 1式					②計画書作成									
(住民一人あたりの行政コスト)					82 円					②まちづくりの方針(ターゲット)					②まちづくりの方針(ターゲット)				
令和元年度					今年度(令和元年度)					今年度(令和元年度)									
6,232,467	円	内訳	特定財源	3,100,000	円	②都市構造上の課題分析等 1式					②まちづくりの骨格構造								
目標に対する実績値					②都市構造上の課題分析等 1式					②課題解決のための施策・誘導方針					②誘導区域・誘導施策				
(住民一人あたりの行政コスト)					105 円					②庁内ワーキング会議の開催 2回					②庁内ワーキング会議の開催 2回				
(住民一人あたりの行政コスト)					105 円					②検討委員会会議の開催 2回					②検討委員会会議の開催 2回				

5 担当課評価 ②														
☞ 実施したことによる成果や課題を記入してください。														
成果	ほぼ目標どおり													
成果内容分析	立地適正化計画策定業務(2年目)は持続可能な街づくりを実現するため都市のコンパクト化を目指す一方、石下駅周辺地区整備事業等の都市計画事業の補助率嵩上げを目指す側面を持つ計画とも言えます。また、石下地域交流センター・豊田城周辺の東部拠点(市所有:4ha未利用地)と石下駅周辺整備を関連づけ、一体性のある整備を目指しています。令和元年度までは概ね予定通りの進捗状況です。													
課題	当市が実施する石下駅周辺地区整備事業等の都市計画事業については、総事業費が高額になり市財政が逼迫する恐れがあることから、現在、他自治体でも注目されている民間資金を活用した官民連携事業を検討中です。以上を踏まえ令和2年度には資産管理課が東部拠点の利活用についてのパートナーを決めるべくサウンディング調査を実施予定です。更に令和3年度には当課がPPP/PFI導入の可能性を視野に国庫補助を活用し官民連携基盤整備推進調査を実施する予定です。													

6 担当部長評価 ③														
☞ 担当部長で協議のうえ、評価してください。														
事務事業の方向性														
<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現行どおり <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止・廃止														
評価理由	現在、茨城県が実施中の石下駅中沼線の拡幅整備工事の令和9年度完成に併せて、当市が実施する石下駅前広場を含めた周辺整備等を完成させるには、積極的に国庫補助を活用した官民連携基盤整備推進調査や都市構造再編集中支援事業を展開する必要がある。更に、石下東部拠点整備事業と石下駅周辺整備事業を関連づけ一体的に整備するためにも拠点連携型ウォークブル推進事業を導入したい。													

8 行政改革懇談会(市民)の意見														
担当部長評価のとおりでよい。人口減少社会においては、都市機能の集約と集落の維持に考慮した持続可能なまちづくりを進める必要がある。ただし、事業費が高額となる恐れがあるため、県との連携や、民間活力や国庫補助を積極的に活用し、事業を推進していただきたい。														

9 最終評価(行政改革推進本部) ④														
事務事業の方向性														
<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現行どおり <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止・廃止														
評価理由	人口減少が進む中、居住と都市機能の誘導は必要であり、合わせて石下駅前広場と東部拠点を連携させた一体的整備の推進が必要であることから、都市計画マスタープランとの整合を図りながら持続可能なまちづくりを図りたい。													

7 実施計画 ⑤																
☞ 今後3年間について、何を・どの程度実施していくか具体的に記入してください。なお、予算額の『歳出の計』と『歳入の計』は一致させてください。																
年度	令和2年度					令和3年度					令和4年度					
事業内容	①都市計画変更業務(生産緑地、鬼怒公園、石下東部拠点)					①都市計画マスタープラン改定(1年目)					①都市計画マスタープラン改定(2年目)					
	②立地適正化計画策定業務(3年目)					②都市計画基本図(数値地形図)修正(11面/65面)					②都市計画基本図(数値地形図)修正(11面/65面)					
	③都市計画基礎調査業務(概ね5年に一度実施)					③官民連携基盤整備推進調査					③石下地区都市構造再編集中支援事業					
成果指標	指標名	単位	目標値	指標名	単位	目標値	指標名	単位	目標値	指標名	単位	目標値	指標名	単位	目標値	
予算額	歳出	計	18,016	千円	歳出	計	30,750	千円	歳出	計	37,750	千円	歳出	計	37,750	千円
		特定財源	5,921	千円		特定財源	7,000	千円		特定財源	10,000	千円		特定財源	10,000	千円
	歳入	一般財源	12,095	千円	歳入	一般財源	23,750	千円	歳入	一般財源	27,750	千円	歳入	一般財源	27,750	千円
		計	18,016	千円		計	30,750	千円		計	37,750	千円		計	37,750	千円

10 事務事業の改善点と理由 ⑥														
☞ 実施計画のみ作成する場合も記入してください。														
事業内容														